

図書館とまちづくり

公共施設としての図書館の機能と役割について、近年そのあり方が見直されつつあります。公共施設の集約化、複合化が進められる中、まちの賑わいや再生を目指す地域活性化の核として図書館が注目されており、各自治体で様々な取組が進められています。

この研修では、地域で必要とされる図書館とはどのようなものか、サービスの拡充はもとより、まちづくりの主体となる人々が集う交流拠点として、どのような役割を果たすことができるのか、その可能性について考えます。

研修のポイント

- 図書館の現状と課題を学び、まちづくり活動の拠点としての図書館のあり方について考えます。
- 住民をはじめとした様々な主体が、積極的に図書館の運営等に参画している事例から、成果や課題等を学び、今後の取組について考えます。
- 演習による討議を通し、図書館を活かしたまちづくりを考え、実践につなげます。

開催要領

日程

令和6年2月14日(水)～2月16日(金) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

図書館や地域活性化(再生)事業に携わる市区町村の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申込みください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和5年12月14日(木)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。
議員の方は、**議会事務局を通じて**お申込みください。

[Web申込み]が不可能な場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和6年

2月

14日(水)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~15:35

講義 まちづくりと図書館の接点

慶應義塾大学 名誉教授 糸賀 雅児 氏

図書館はかつての「読書の間」から「地域の情報拠点」へと進化し、まちづくりとの接点を広げつつありますが、その背景には国の交付金制度の活用が考えられます。そこで、ソーシャル・インクルージョンやSDGsといったグローバルな視点と生成AIの普及を前提に、まちづくりに限らない図書館との接点の多様性を考えます。

15:50~17:00

演習 意見交換

慶應義塾大学 名誉教授 糸賀 雅児 氏

受講者の皆さんから「まちづくり」のイメージや考え方を話してもらい、それらをもとに図書館とまちづくりの接点を広げる手法や、首長部局との連携をさぐる道すじについて意見交換を行います。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

午前中は、「わたしたちの図書館をつくる」をテーマに3つの事例紹介と質疑応答・意見交換を実施します。県立長野図書館 前館長 平賀 研也 氏にコーディネーターとしてご指導いただきます。

9:00~9:45

事例紹介 図書館におけるリビングラボ等「共創」の取組・ポイントについて

アカデミック・リソース・ガイド株式会社(arg) 取締役CDO 李明喜 氏

須賀川市立図書館、県立長野図書館、小千谷市立図書館など、リビングラボ等「共創」の取組について、これまでの取組やこれから活かせるポイントなどお話しいただきます。

9:55~10:40

事例紹介 市民とともにつくる図書館～瀬戸内市民図書館の取組～

京都橘大学文学部歴史遺産学科 教授 嶋田 学 氏

図書館整備に活かすためのワークショップを開催されるなど、建設から運営まで市民の声を反映し、ともに作りあげた瀬戸内市民図書館の取組について、お話しいただきます。

10:45~11:30

事例紹介 まちライブラリープロジェクトより学ぶ

一般社団法人まちライブラリー提唱者、代表理事 儀井 純充 氏

カフェやオフィス、病院にお寺、個人宅からアウトドアまで、さまざまな場所にある本棚に人が集い、本を通じて自分を表現し、人と交流する、みんなでつくる小さな私設図書館「まちライブラリー」。これまでの展開とプロジェクトが全国的に広がることで新しく見えてきたこと、多様な主体との連携など、個人の思いと本が織りなす交流の場「まちライブラリー」の取組について、ご紹介いただきます。特に北海道千歳市、長野県茅野市などまちづくりと連携したまちライブラリー事例についても詳細を報告いただきます。

11:30~12:30

事例紹介 質疑応答・意見交換

アカデミック・リソース・ガイド株式会社(arg) 取締役CDO 李明喜 氏

京都橘大学文学部歴史遺産学科 教授 嶋田 学 氏

一般社団法人まちライブラリー提唱者、代表理事 儀井 純充 氏

13:30~17:00

講義・演習 図書館を活かしたまちづくり

県立長野図書館 前館長 平賀 研也 氏

グループに分かれ、住民の求める図書館とはどのようなものか、各自治体にとってふさわしい図書館の姿を講義と演習を交えながら考えます。また、図書館の設置、運営に関わる多様なステイクホルダー間の市民的公共の対話のありようについて議論します。

9:25~12:00

演習 発表・講評・まとめ

県立長野図書館 前館長 平賀 研也 氏

前日に討議した内容を発表し、全体で共有します。発表に対し、講師からの講評及び質疑応答を行い、理解を深め、3日間のまとめとします。

12:00~12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和6年

2月

15日(木)

令和6年

2月

16日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。